

でこぼこ絵本プロジェクト (バンコク周辺)

アーク初の「作成系」プロジェクト、それが「でこぼこ絵本」です。私たちの絵本は、見て美しく触れて楽しいので、この名前を付けました。開くと、カラフルなイラストや大きく読みやすい文字に目を奪われます。触れてみると、いろいろな素材を駆使して作られたでこぼこパーツやつぶつぶの点字が指に心地よいです。

1冊目でワクワク

タイトル: たからもの

主人公: ノイナ (コウモリ) とサライ (ペンギン)

あらすじ: ある日、タイの片隅の小さな図書館で、ノイナとサライが出会います。図書館で宝の地図を見つけた二人は、宝探しの旅に出発! ノイナとサライは、ジャングルや南極、宇宙にまで飛び出して大冒険。

さて、宝物は見つかるのでしょうか...?

続きは絵本の完成をお楽しみに!

作ってワクワク

絵本の製作は、バンコク周辺で行われています。高い技術と熱い心を持つボランティアさんたちが、ノイナやサライ、ジャングルの木や空の雲等、一つ一つ丹精を込めて手作りしています。

シェアしてワクワク

メイド・イン・タイランド: 実は、このような絵本は世界各国で作られています。でも、でこぼこ絵本は、タイ国内で、タイにある材料 (麻袋やバナナの葉、乾いた木の皮等) を使って、タイを舞台にしたお話を、世界に届ける初めての試みなのです。

楽しさを2倍に: 1冊の本を購入していただくたびに、もう1冊の本をタイ国内の特別支援学校や施設に届けます。幸せは、半分こすると2倍になりますから。



あなたもできるアークのサポート

日本語のお問い合わせはすべて、japanese@alwaysreadingcaravan.org までお願いいたします。

●活動資金サポート「アークの会」

安定した活動のために、一口1,000パーツ (3,000円) で年会員を募集しています。会員になってくださった方には活動報告メールを定期的にお送りさせていただきます。お手数ですが送金後確認のため、お名前、口数、金額を、メールでご連絡をお願いします。

もちろん、単発のご寄付も大歓迎です!

タイパーツ振込先

口座名: Bookworm Foundation

銀行名: Kasikorn Bank 支店名: Central Festival Chiang Mai

口座番号: 普通 (saving account) 043-8-15111-7

日本円振込先

口座名: アークどこでも本読み隊

銀行名: みずほ銀行

支店: 高知支店 口座番号: 普通 1954538

●企業パートナー

アークを地元根付いた団体に育てていくためには、サステナブルであることが必須です。

アークでは、CSRや、社会企業のパートナーとして、活動を共に支えてくださる企業やお店を探しています。興味を持ってくださった方は、ぜひご一報ください!

●本の寄付

こんな本を探しています

- タイ語の本: 雑誌、仏教等の経本、教科書を除くすべてのジャンル
- 日本語や英語の本: 飛び出す絵本や触る絵本、音の出る本等の仕掛け絵本

本をご寄付いただける場合は、以下の住所までお願いいたします。

Rang Mai Library PO Box6 T.Wiang,A.Phrao, Chiang Mai 50190

●ボランティア

ウェブコンテンツの作成、グラフィック・デザイン、翻訳等、様々なボランティアを常に募集しています。あなたの能力を、アークの活動に生かさせてください。



本を開いて世界へ!

アークどこでも本読み隊 Bookworm Foundation

URL : www.alwaysreadingcaravan.org
www.facebook.com/ARCBookworm

Mail : bookworm@alwaysreadingcaravan.org
japanese@alwaysreadingcaravan.org (日本語)

TEL : +66-(0)53-475-529 / +66-(0)93-212-3006

アークどこでも本読み隊



アークの出発点

アークどこでも本読み隊は、全盲の本の虫である堀内佳美が2010年1月に設立した非営利団体です。彼女はバンコクに留学中、国内各地の村や障害者関連団体を訪れました。

そして、本の価格が高い、農村地域に図書館が不足しているなどの理由から人々が活字の情報が届きにくい状況にあることを知りました。そこから彼女は本と人々を繋げる方法を考え始めたのです。



本は、本当に頼れる友達です。

「あなたは貧しいかもしれません。アクセスの悪い僻地に住んでいるかもしれません。あるいは、私のように障害を持っている方もいるでしょう。あなたがどんな状況にいても、本はあなたに知識を届けてくれます。

そして、ばらりと開くだけで、一歩も家から出ることなく、世界中どこへでも連れていってくれます。さらにうれしいことに、読書は役に立つ上に楽しいんです。

よく、読書はつまらないと思込んでいる人がいますが、アークはそういう人たちにこそ、読書の楽しさを伝えることを、一番の目的と考えています。」(堀内佳美)



アークのミッション

- 楽しみのための読書の喜びを知ってもらう。
- 様々なバックグラウンドをもつ子どもや大人に対して平等に読書の機会を提供する。
- いわゆる「一般社会」とマイノリティの間をつなぐ架け橋として本を利用する。

活動紹介

ランマイ図書館プロジェクト

(チェンマイ県プラオ郡)

タイ語で、「ランマイ」は、絹を作るカイコの繭という意味です。ランマイ図書館に来たすべての本の虫たちが、自分の家のようにのんびりした気分になってくれたらという思いから名付けました。

「開かれた図書館」を目指して、次のように様々なサービスを提供しています。

- 本やDVDの貸し出し
- 無料Wi-Fiの利用
- 以下のような図書館活動の企画と実行

遊びの図書館

月に1度、ランマイ図書館を開放して、子供たちのために、読み聞かせや工作、料理等、楽しさ盛りだくさんなプログラムを実施しています。

手伝ってくれるボランティアは、地元の高校生です。



本の虫文庫

2021年1月現在、プラオ郡全体に15の小さな本棚を設置しています。各場所には50冊ほど本を置き、毎月入れ替えます。

訪問図書館

障がい、高齢、子供が小さい等、様々な理由から一人で図書館に来るのが難しい利用者さんを、私たちが各家庭まで訪ねていきます。



本の虫キャラバン

移動図書館車両「はるの号」いっぱい、色とりどりの本を詰め込んで、山岳民族の子供たちが寝泊まりする寄宿舎や村のお寺、地域の集会所等で移動図書館活動を行います。



おーい！
また本を持ってきたよー！



少数民族の子供たちのための識字教育プロジェクト

(チェンライ県ウィアン・パバオ郡、チェンマイ県プラオ郡)

タイの学校は「タイ語」で授業が行われますが、カレン族、アカ族、リス族等、少数民族の子供たちの母語はタイ語ではありません。

近くに学校がないため、就学年齢になると、親元を離れて平野部の寄宿舎に入り、そこから通学するのですが、言語や習慣の違いから、つまづいてしまう子供がとても多いのです。

そこで、アークではタイ語や英語のアルファベットや数の数え方等、基礎的なことを教え、自信を持って学校生活を送れるよう、幼児教育センターを設立しました。

2021年4月現在、アカ族とラフ族の子供たちが通う「太陽の家」、主にリス族の子供たちが通う「笑顔の家」という、2か所の幼児教育センターを運営しています。

